

市民等意識調査について

目指すアウトプット

- ① 鎌倉市の目指す環境の将来像
- ② 将来像の実現に向けて私たち一人ひとりがやるべきこと・できること

- 上記の明確化に向けて、アンケート調査やワークショップ（対面式+オンライン※）を併用し、市民等と本計画の将来像を共に創ります。

※オンラインWS：鎌倉市市民参加型合意形成プラットフォームについて

- 様々な政策の形成プロセスの民主主義のDXに向けて開発された「Liqlid（リクリッド）」を活用することで、いつでも、どこでも、誰でも政策形成に参加できるようになります。
- 鎌倉市ではこのシステムを活用し、市民参加型合意形成プラットフォームを構築し、総合計画や地域まちづくり等の政策検討を行っています。

■ 基幹システム Liqlid（株式会社Liquitous）

The image shows the Liqlid system interface with 8 numbered steps: 1. 情報を提供する (Provide information), 2. アイデアを募集する (Recruit ideas), 3. プロジェクトを開始する (Launch project), 4. 議論する (Discuss), 5. 投票する (Vote), 6. ブログ (Blog), 7. 分析する (Analyze), 8. 地図で見る (View on map). The Liqlid logo and tagline 'じっくり話してしっかり決める' (Talk slowly, decide firmly) are also visible.

■ 市オンライン共創プラットフォーム

The diagram shows the '鎌倉市 市民参加型オンライン共創プラットフォーム' (City of Kamakura Citizen Participation Online Co-creation Platform). It is represented as a combination of '市民対話ワークショップ' (Citizen Dialogue Workshop) and 'オンラインプラットフォーム' (Online Platform). The workshop icon shows people talking, and the platform icon shows the Liqlid interface.

1. 環境の将来像の導き方

- 環境の将来像は、様々な調査手法を活用し、可能な限り鎌倉市に関わる市民等の考えを反映することを目指します。大きく2つのステップと、6つの調査で考えています。

Step 1 鎌倉の環境の【強み・弱み】と【期待】を、広く浅く把握する

鎌倉市に関わる各々の立場から、環境行動が実施できない理由等の改善すべき課題と、これからの鎌倉の環境の未来に対する期待を把握します。

①暮らす人、活動する人の鎌倉の環境に対する思いをとらえる

市民アンケート

事業者アンケート

観光客アンケート

環境団体アンケート

+子ども向けアンケート

Step 2 将来像のイメージと私たちがやるべきことを具体化する

アンケートでの「強み・弱み」や「期待」を踏まえて、市民ワークショップやヒアリング等から将来像とその実現に向けてそれぞれの主体がやるべきことを具体化します。

①未来への思いや行動のアイデアを広く募集

いつでも、どこでも、だれでも参加できるオンラインWSのメリットを生かし、アイデアを集めます。

市民参加型共創プラットフォーム
Liqlid (リクリッド)

②目指すべき方向性 + 私たちができること

集まったアイデアを市民のワークショップで議論し、将来像の形や自分事として行動すべきことを明確化します。

市民50名参加 (想定)
ワークショップ

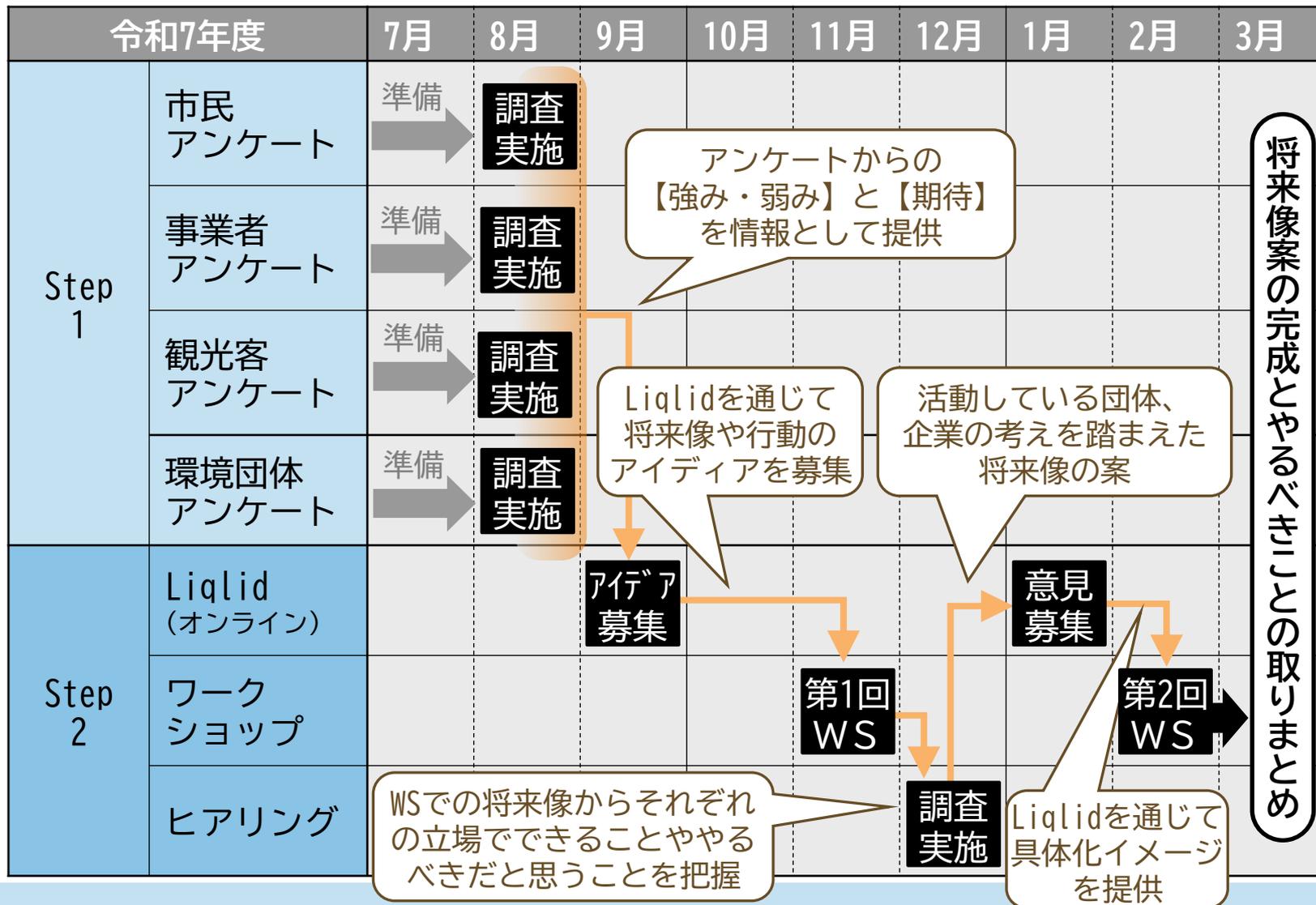
③多様な視点からの将来像の具体化

現在活動している環境団体や民間事業者等の目線から、将来像の実現に向けてやるべきことを明らかにします。

鎌倉で活動する地域団体・事業者
ヒアリング

2. 調査・検討のスケジュール（案）

- 各調査は、8月予定のアンケート調査からスタートし、リクリッドとワークショップの繰り返りで、将来像のイメージやその実現に向けて実施すべきことを具体化していくことを想定しています。



3. 各種アンケート調査の概要

- アンケート調査については、それぞれの立場での【強み・弱み】と【期待】が把握できるよう、調査方法等を含めて以下のように予定しています。調査は8月頃を予定しています。

市民アンケート

【対象】市民2,000人（市内在住、18歳以上）

【抽出】住基台帳データを元に無作為抽出

【方法】紙面アンケート（郵送発送・回収、WEBでの回答可）

【調査項目（例）】

- ①環境意識(関心のある環境問題、環境の変化の実感 …など)
- ②環境の取組（取組の状況、取り組むうえでの課題 …など）
- ③環境施策の評価（市の取組の認知度、満足度 …など）
- ④将来像（市の環境の魅力、期待する将来像 …など）

事業者アンケート

【対象】1,000社（市内事業者、無作為抽出）

【抽出】iタウンページの情報を基本として無作為抽出

【方法】紙面アンケート（郵送発送・回収、WEBでの回答可）

【調査項目（例）】

- ①環境意識(関心のある環境問題、取組への考え …など)
- ②環境の取組（環境保全活動の実施状況、実施の課題 …など）
- ③環境施策の評価（市の取組の認知度、満足度 …など）
- ④将来像（期待する将来像 …など）

環境団体アンケート

【対象】100団体程度（自然、ごみなど多分野）

【抽出】鎌倉市市民活動センター等の情報を元に抽出

【方法】メールを介した調査（WEBでの回答を基本）

【調査対象（例）】

- ①鎌倉風致保存会
- ②○○○○○○○○○○○○○○○○
- ③○○○○○○○○○○○○○○○○

観光客アンケート

【対象】過去3年以内に鎌倉に訪れた500名程度

【抽出】WEBアンケートのモニター

【方法】WEBアンケートでの回答

【調査項目（例）】

- ①魅力的だと思う鎌倉の環境
- ②鎌倉の観光で困ったこと（渋滞、交通手段、ごみ …など）

+子ども向けアンケート

それぞれの考える課題や期待を将来像等の検討材料に

4. 市民ワークショップの概要

- 将来像等を明確化するための市民ワークショップを令和7年度に2回行います。
- 市民ワークショップに先駆けて、Liqlidによるオンライン意見募集を2回実施します。
※市民ワークショップとLiqlidの関係については次ページをご覧ください。

市民ワークショップ

- 【対象】鎌倉市に在住、在学、在勤される方
- 【定員】50名を想定
- 【開催場所】市施設の会議室等を予定
- 【参加方法】e-kanagawa電子申請による公募
- 【周知方法】市HPやSNS、市報及びLiqlidを通じた周知

【第1回の開催イメージ】

- 目的：本市の環境の将来像のアイデアを導出
- 協議内容：
 - ・鎌倉の環境の良いところ、改善すべきところ
 - ・将来の鎌倉の環境の望ましい姿

【第2回の開催イメージ】

- 目的：将来像と実現に向けてやるべきことの具体化
- 協議内容：
 - ・鎌倉市の環境の将来像
 - ・将来像の実現に向けて私たちが実施すべきこと

Liqlid

- 【対象】鎌倉市に在住、在学、在勤又は鎌倉市の環境に関心のある方
- 【参加方法】端末のブラウザ等から所定のリンクへアクセス
- 【周知方法】市HPやSNS、市報及びLiqlidを通じた周知
市民等アンケートによるLiqlidの案内

【第1回意見募集のイメージ】

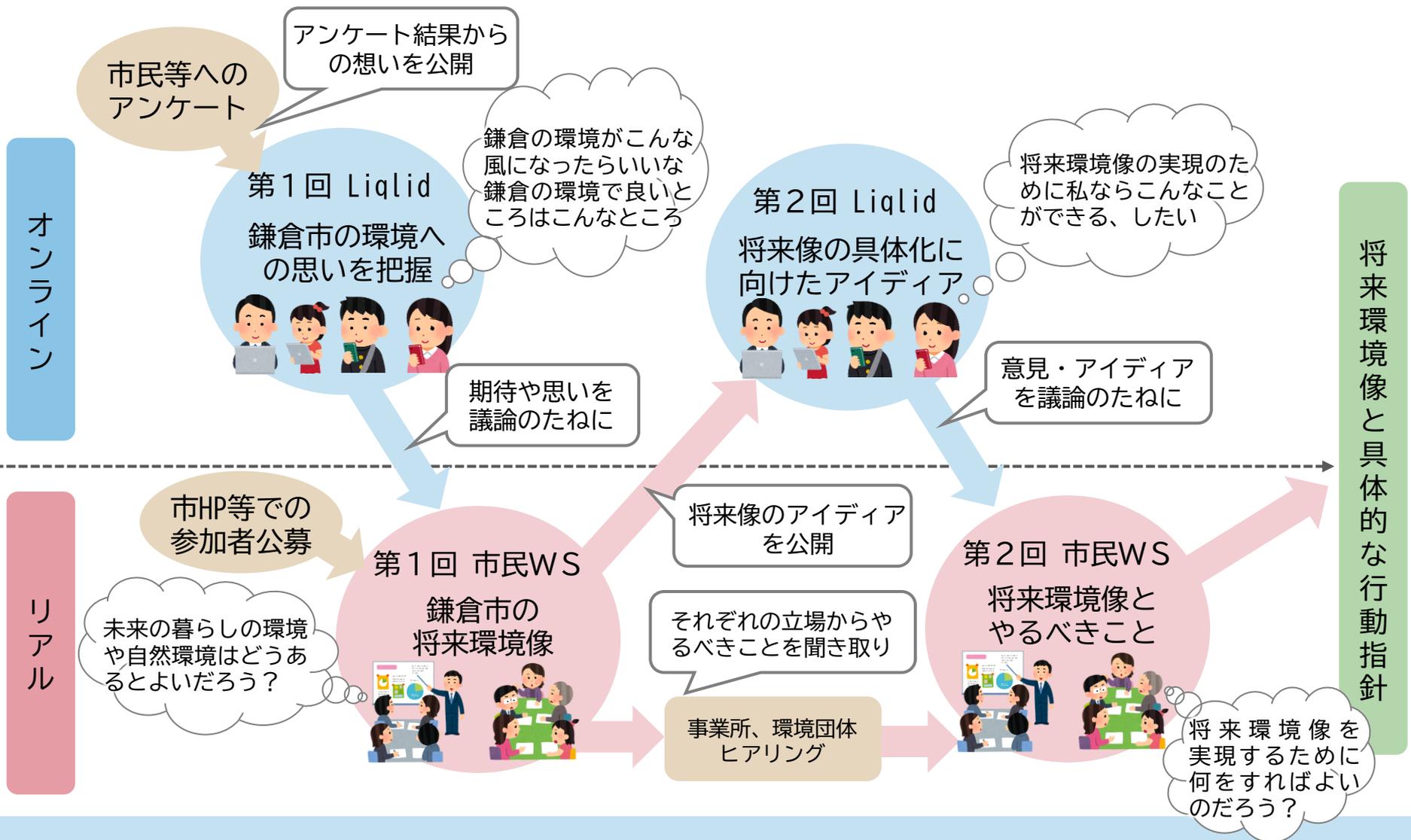
- 目的：広範な視点からの鎌倉の環境の課題・期待の抽出
- 協議内容：
 - ・鎌倉の環境の魅力や課題
 - ・鎌倉市の将来の環境に期待すること

【第2回意見募集のイメージ】

- 目的：第1回WSの将来像の具体化に向けたアイデア
- 協議内容：
 - ・将来像に対する意見
 - ・将来像の実現に向けて自分事としてできること

5. オンライン「Liqlid」 + リアル「ワークショップ」

- アンケート調査結果から得られた鎌倉の環境の【強み・弱み】と【期待】をもとに、オンライン+リアルでのワークショップ（WS）を通じて、将来像等を具体化します。



鎌倉市 KAMAKURA SMART CITY
スマートシティ

まちの悩みごとを
地域で共有して解決

市民参加型
共創プラットフォーム始動！



市民参加型共創プラットフォームとして「Liqlid」を導入しています。

モバイル環境にも対応しているため、思いついたアイデアをいつでも投稿でき、どこからでもプロジェクトの対話に参加できる仕組みです。

総合計画の見直し、新庁舎の活用、歴史まちづくり等の検討に活用しています。

■鎌倉市作成
Liqlidの使い方
マニュアル(PDF)



■思いついたアイデアを投稿してもらおう



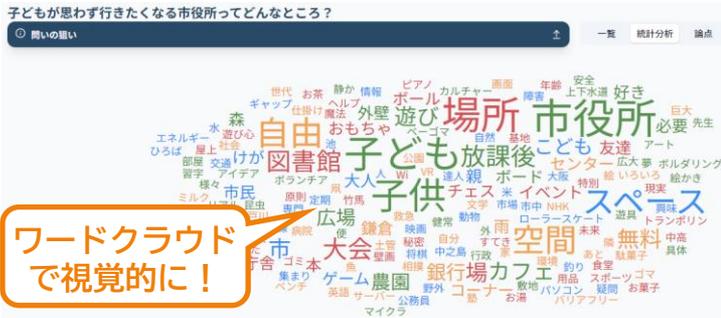
思いついた
アイデアを投稿

■オンラインチャットで対話に参加してもらおう



チャットで
プロジェクトの
参加者で話し合い

投稿された情報は統計的に分析され情報共有



ネガティブ・ポジティブ反応

自然言語処理に基づいて、投稿いただいた内容を機械的に分析し、投稿そのもののポジティブ度・ネガティブ度を判定したのになります。参加者の民意をポジティブネガティブの側面で見える際に役立ちます。



ネガティブ・ポジティブ
意見を統計的に！

- ◎ポジティブ意見
- 第1位:作業や、勉強ができる、カフェのようなスペースのある市役所。一人でも入りやすく、友達と談笑しながらでも楽しめるようなスペースがあるところ
 - 第2位:公園のようにのびのび過ごせるスペースと見守る親がゆっくり過ごせるカフェがあるとすき
 - 第3位:走り回れるような大きなスペースがあると嬉しです。あと自然があって昆虫とかが居る場所なら好きと思います。
- ◎ネガティブ意見
- 第1位:そもそもいま計画している新市庁舎が交通の便がすぎて、多くの鎌倉市の子供が「行きたい」と思わないのでは？
 - 第2位:壊れたおもちゃを市役所でもっていけば直してくれるボランティアがいる。おもちゃ病院がある市役所。
 - 第3位:図書館とか学習センターとか、静かに本を読みたいけど、使いにくい区分けがないところ 公民館、公務員ばくないところ